



TOKYOSTEEL

MANUFACTURING CO.,LTD.

1 東京製鐵の事業と鉄鋼業界

2 東京製鐵の強みとCNに向けた取り組み

3 採用情報

1

東京製鐵の事業と鉄鋼業界

- 設立 1934年
- 資本金 309億円
- 従業員数 1,103名(2024年3月末現在)
- 事業内容 鉄鋼製品の製造・販売
- 本社 東京都千代田区霞が関
- 粗鋼生産 約360万トン(国内電炉最大手)
- 売上高 2024年3月期 3,672億円

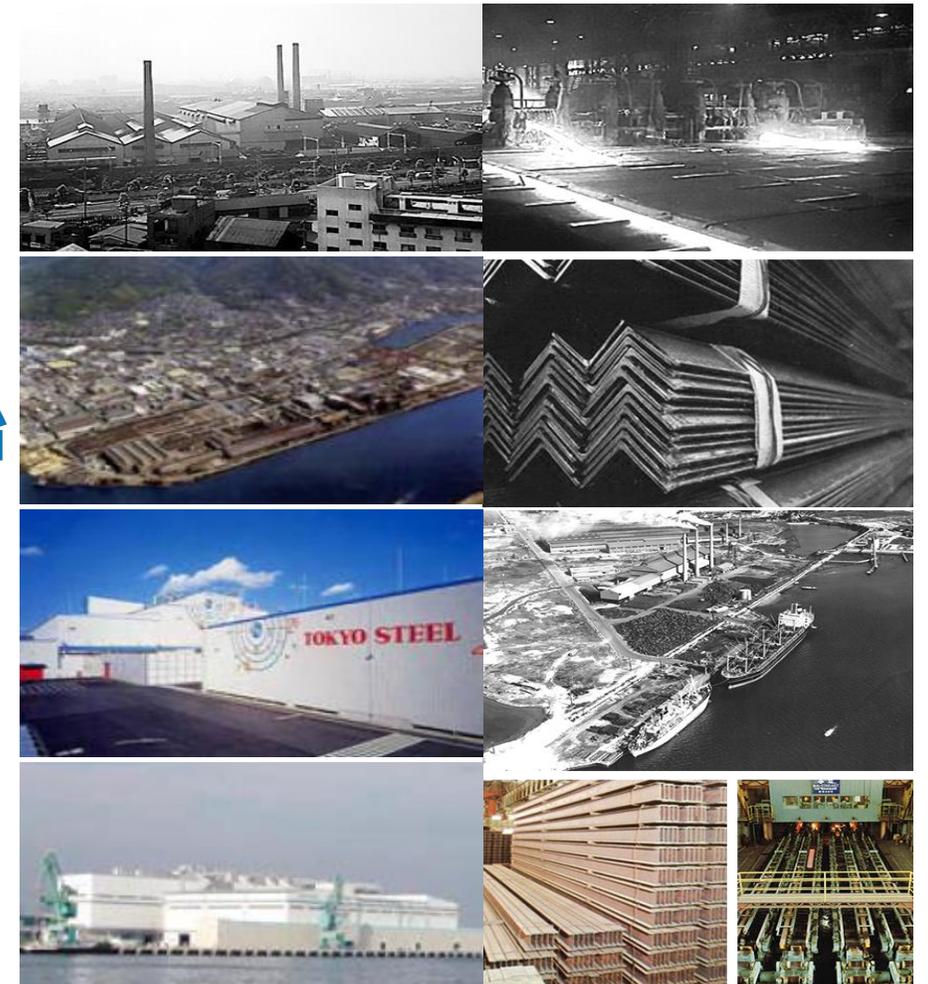


代表取締役社長
奈良 暢明

当社の沿革

創業以来、独立系普通鋼電炉メーカーとして鉄スクラップを主原料に幅広い鉄鋼製品を生産。
業界団体に所属することなく、自主独立・自由競争を重んじる経営方針を貫く。

- 1934年 創業(東京都足立区)
- 1962年 岡山工場(岡山県倉敷市)操業開始
- 1969年 岡山工場にてH形鋼の生産開始
- 1971年 九州工場(福岡県北九州市)操業開始
- 1991年 岡山工場にてホットコイルの生産開始
- 1995年 宇都宮工場(栃木県)操業開始
- 2007年 九州工場にて厚板の生産開始
- 2009年 田原工場(愛知県田原市)操業開始



工場所在地

九州工場
(福岡県北九州市)



岡山工場
(岡山県倉敷市)



宇都宮工場
(栃木県宇都宮市)



田原工場
(愛知県田原市)



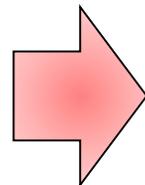
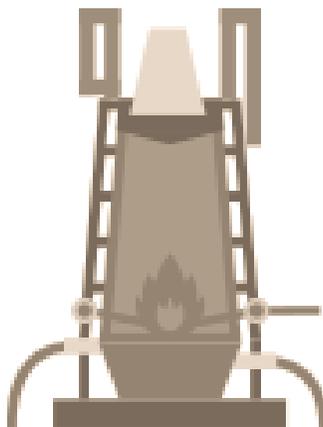
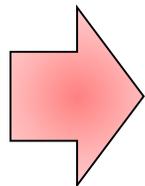
電気炉製鋼法と高炉製鋼法

電炉法と高炉法の違いは、おおよそ主原料および上工程の溶解プロセスのみ。
圧延プロセスを含む下工程に大きな違いは存在しない。

鉄鉱石・石炭など



天然資源



高炉

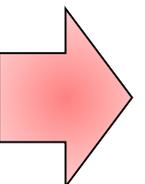
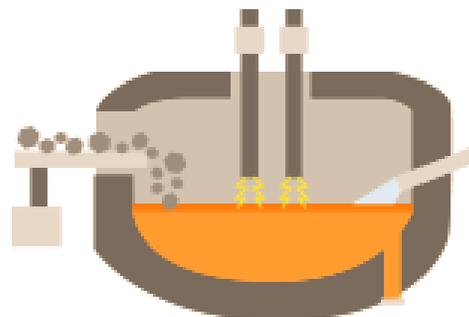
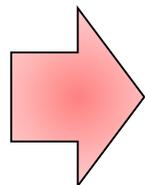
鉄鋼製品



鉄スクラップ



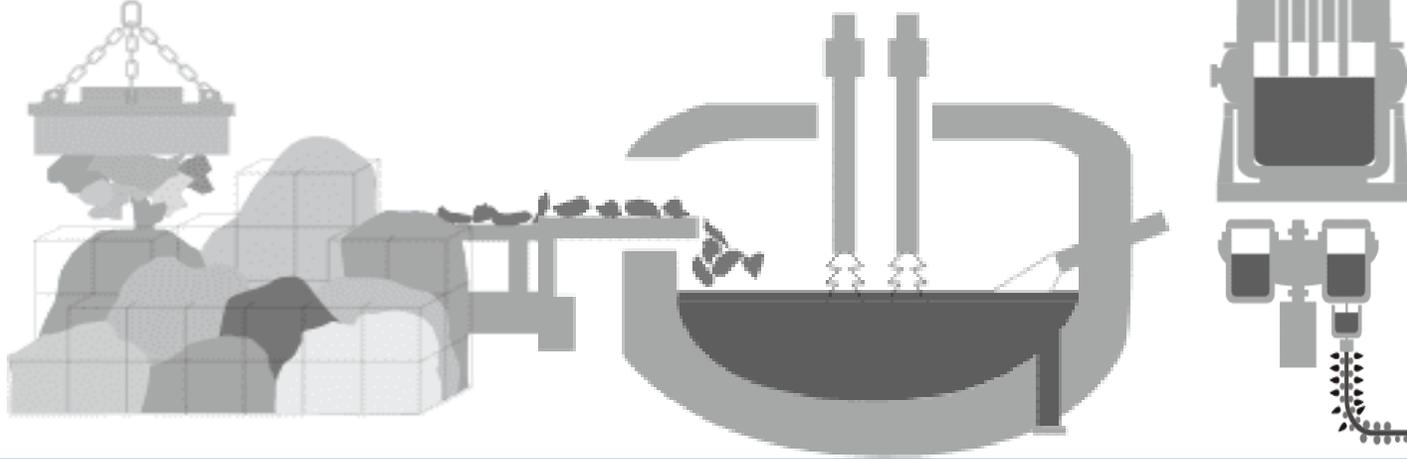
再生資源



電気炉

電気炉を用いた鉄鋼生産プロセスの概要

● 製鋼工程 (電気炉・炉外精錬炉・連続鋳造など)

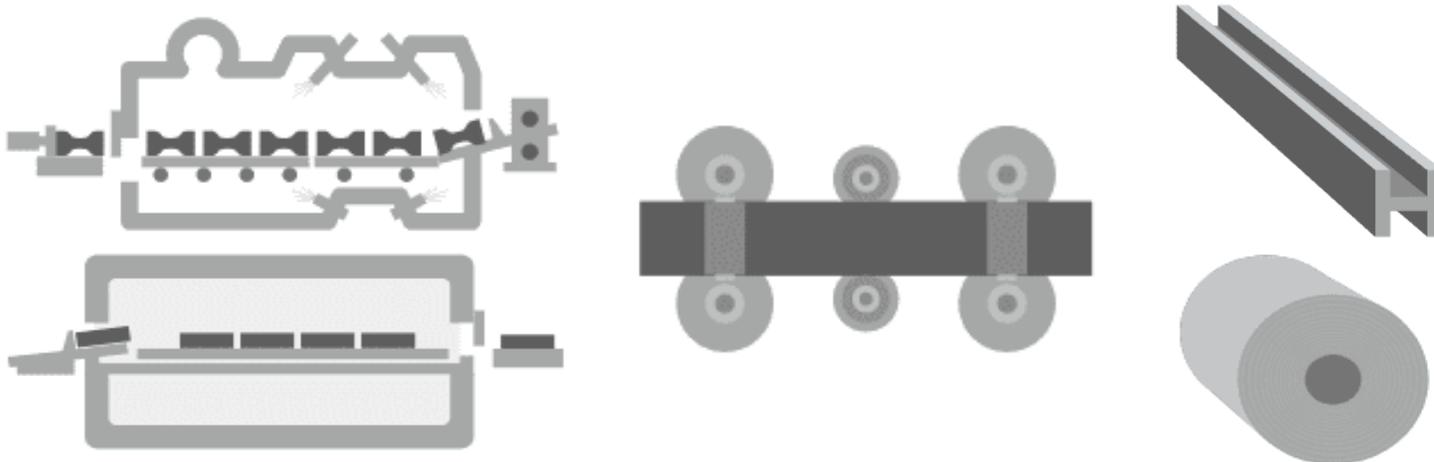


電気炉による鉄鋼生産

● 主原料である鉄スクラップを電気炉に投入し、電力等を用いた溶解、精錬を経て約1,600度の溶鋼を取鍋に出鋼。鉄スクラップ装入から出鋼までは約1時間。

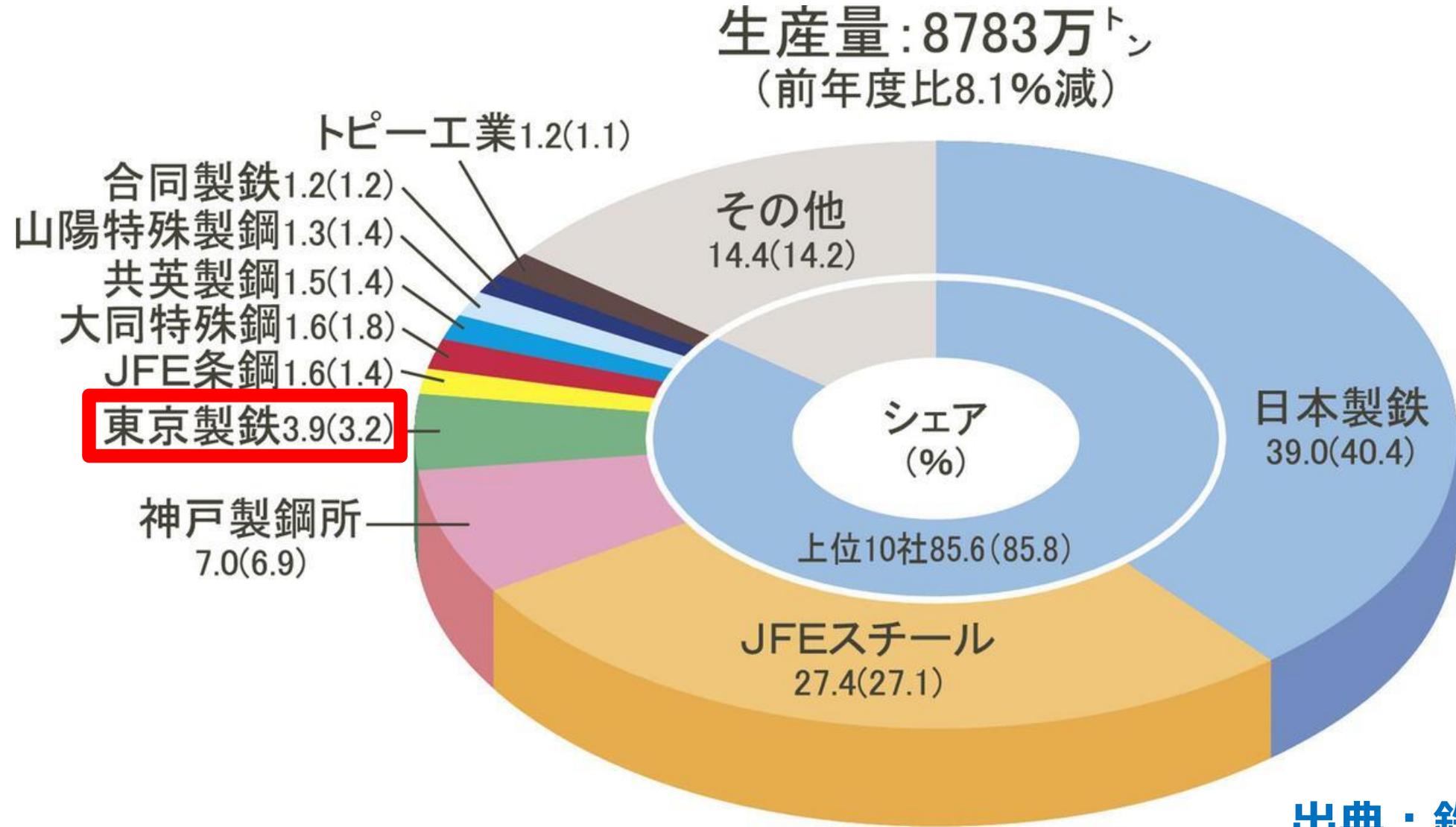
● 近年は、炉外精錬法の採用により、成分の精密な調整が可能となり、品質が飛躍的に向上。溶鋼は連続鋳造機にかけられ、圧延素材としての鋼片(半製品)となる。

● 圧延工程 (加熱炉・圧延・冷却など) ● 表面処理工程など



● 製造時に大量の電力を使用
● 東京製鐵は、高い電炉技術を生かし、建材品種から鋼板品種まで幅広い鉄鋼製品を生産。

2022年度粗鋼生産量シェア

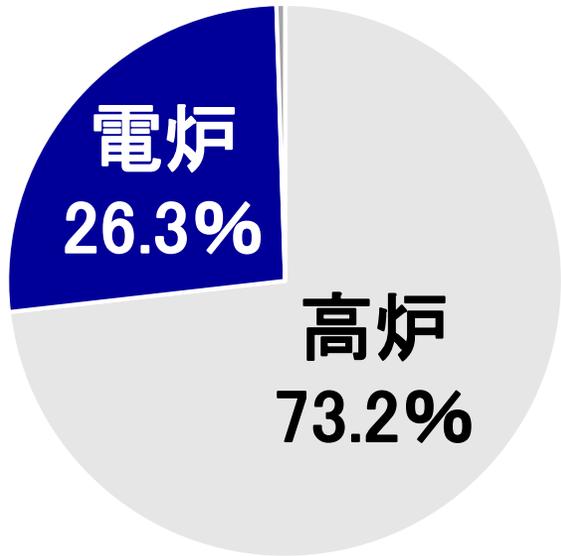


出典：鉄鋼新聞社

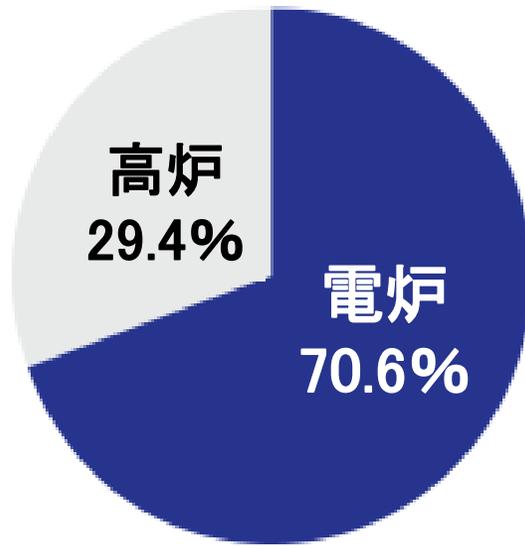
※単独ベース、日本製鉄は日鉄ステンレスを含む。カッコ内は前年度シェア

世界の電炉比率

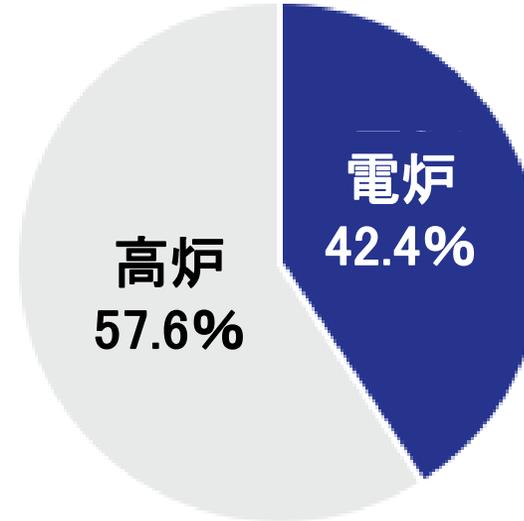
他の先進国と比較して
日本の電炉比率は際立って低い。



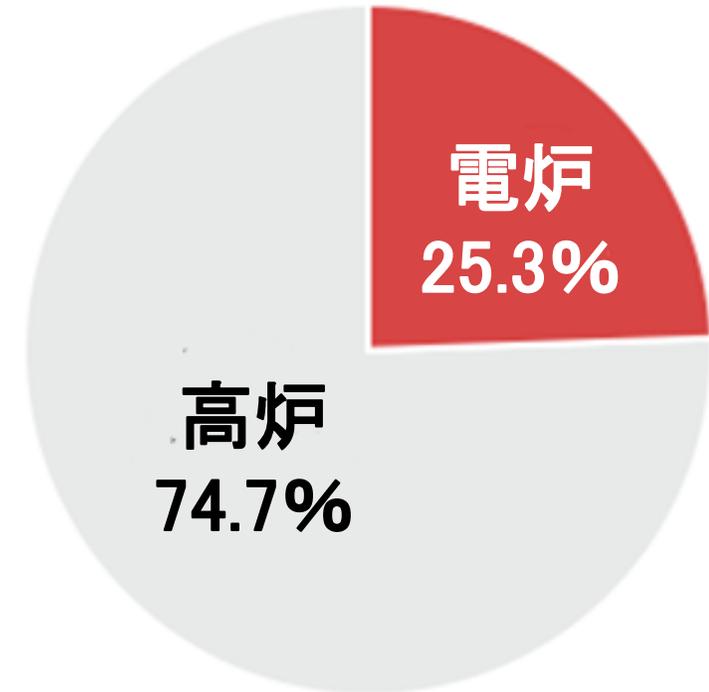
世界



アメリカ合衆国

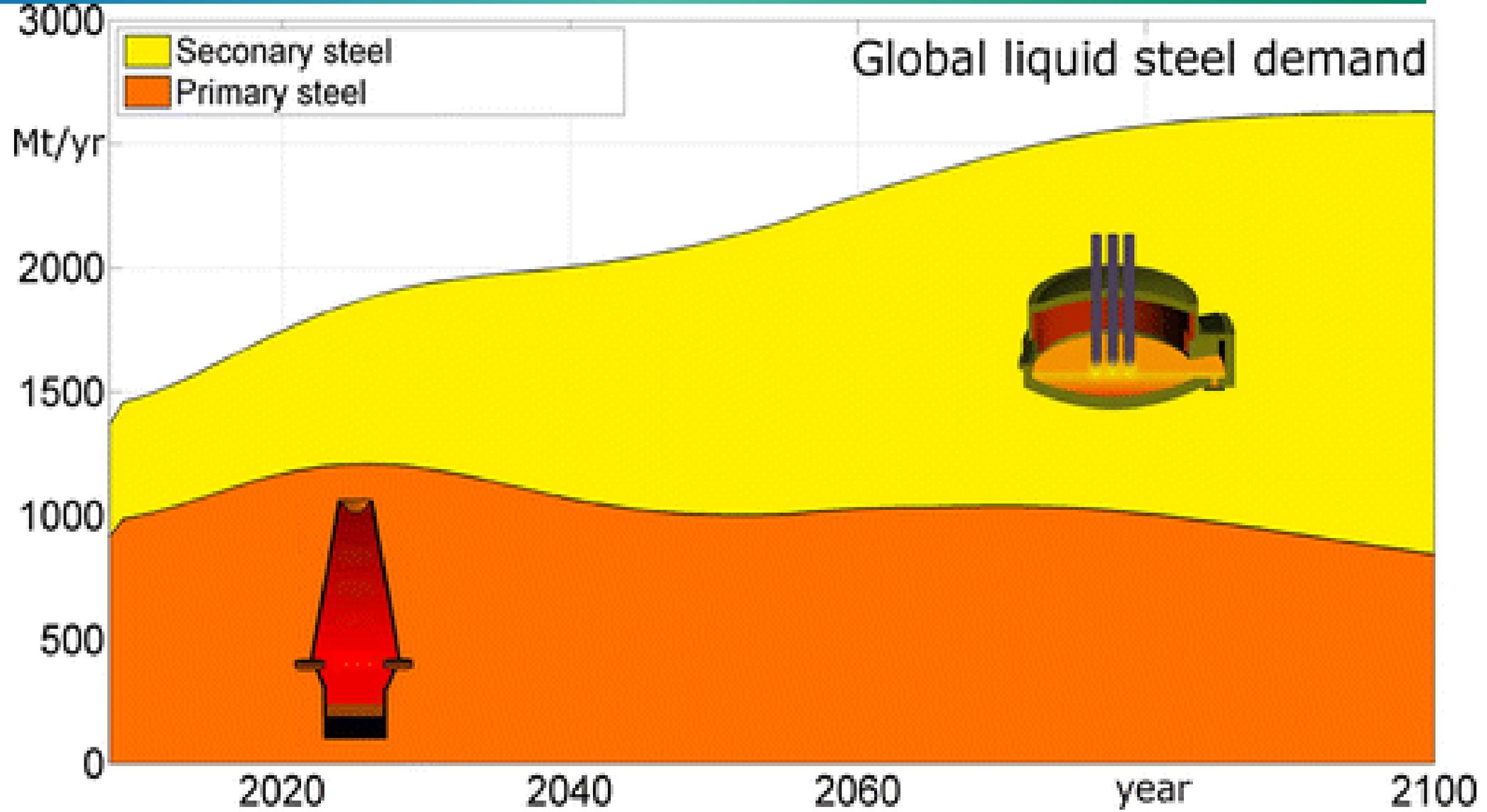


EU28



日本

世界経済の成熟と電炉比率



2

東京製鐵の強みとCNに向けた取り組み

当社鉄鋼製品について

鉄スクラップを主原料に約330万t/年の鋼材を生産する日本最大の電炉メーカー

● **鋼板品種**
薄板・厚板の両方を生産する国内唯一の電炉



用途は産業界の様々な分野



● **建材品種**
H形鋼生産量 国内トップ(約110万t)



用途は主に建設



業界のパイオニアとして多品種展開

品種	2022年度国内生産量 (万トン)	2022年度 電炉シェア	東京製鐵 進出時期
鉄筋	761	100%	1953年
H形鋼	361	71.9%	1969年 電炉初!
厚中板	928	14.8%	1984年
薄板	3,402	5.2%	1991年 電炉初!



高い収益性と少数精鋭の会社経営

財務



ROS
(売上高経常利益率)
10.8%
※2024年3月期

実質無借金経営
¥0
機動的な投資判断

自己資本比率
65.6%
強固な財務基盤

効率



社員数
1,103名
※2024年3月期

総合職は
文理合わせて
約200名です

一人あたり粗鋼生産
3,271トン
他社比4-5倍
※2024年3月期

一人あたり売上高
3.32億円
他社比3-4倍
※2024年3月期

当社の原料は鉄スクラップ100%



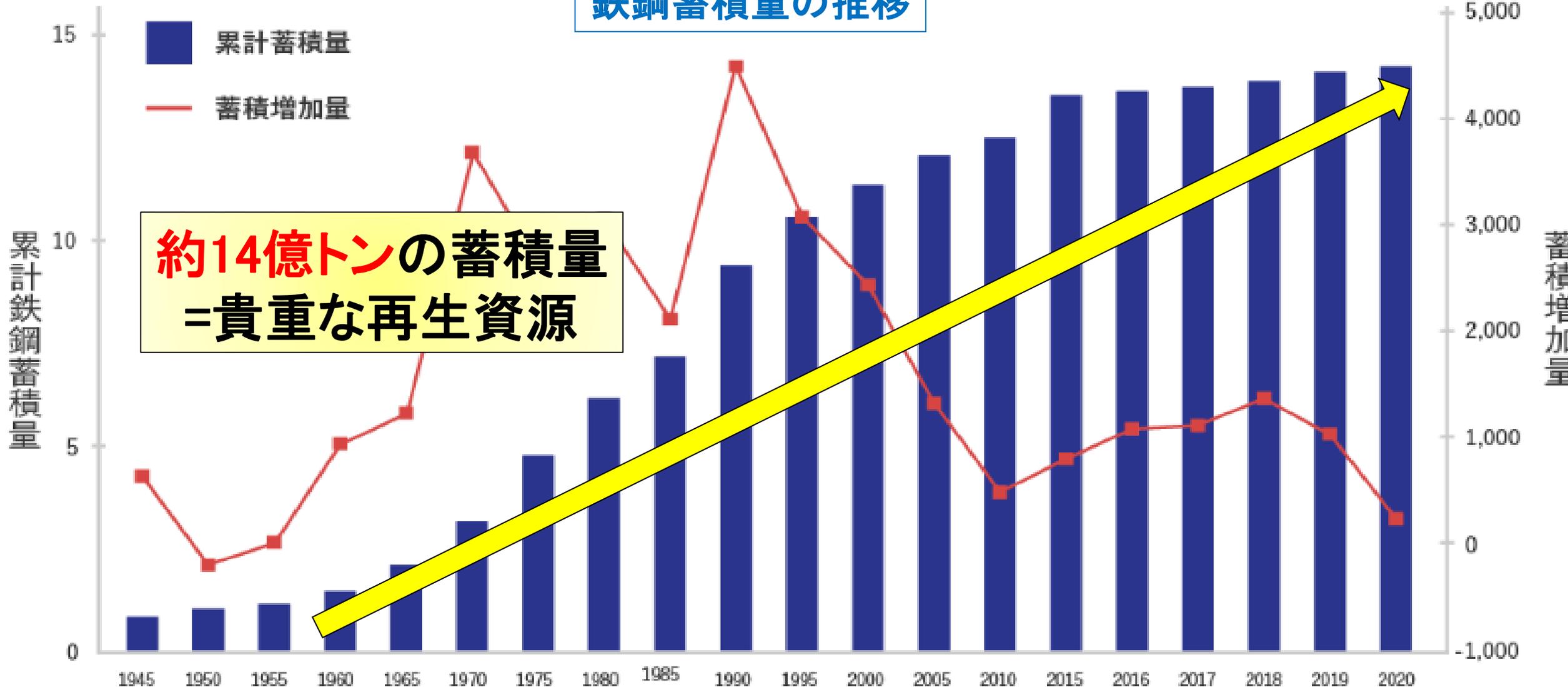
世界最大級の420トン電気炉(田原工場)

日本に大量に蓄積した鉄スクラップ

(単位：億トン)

(単位：万トン)

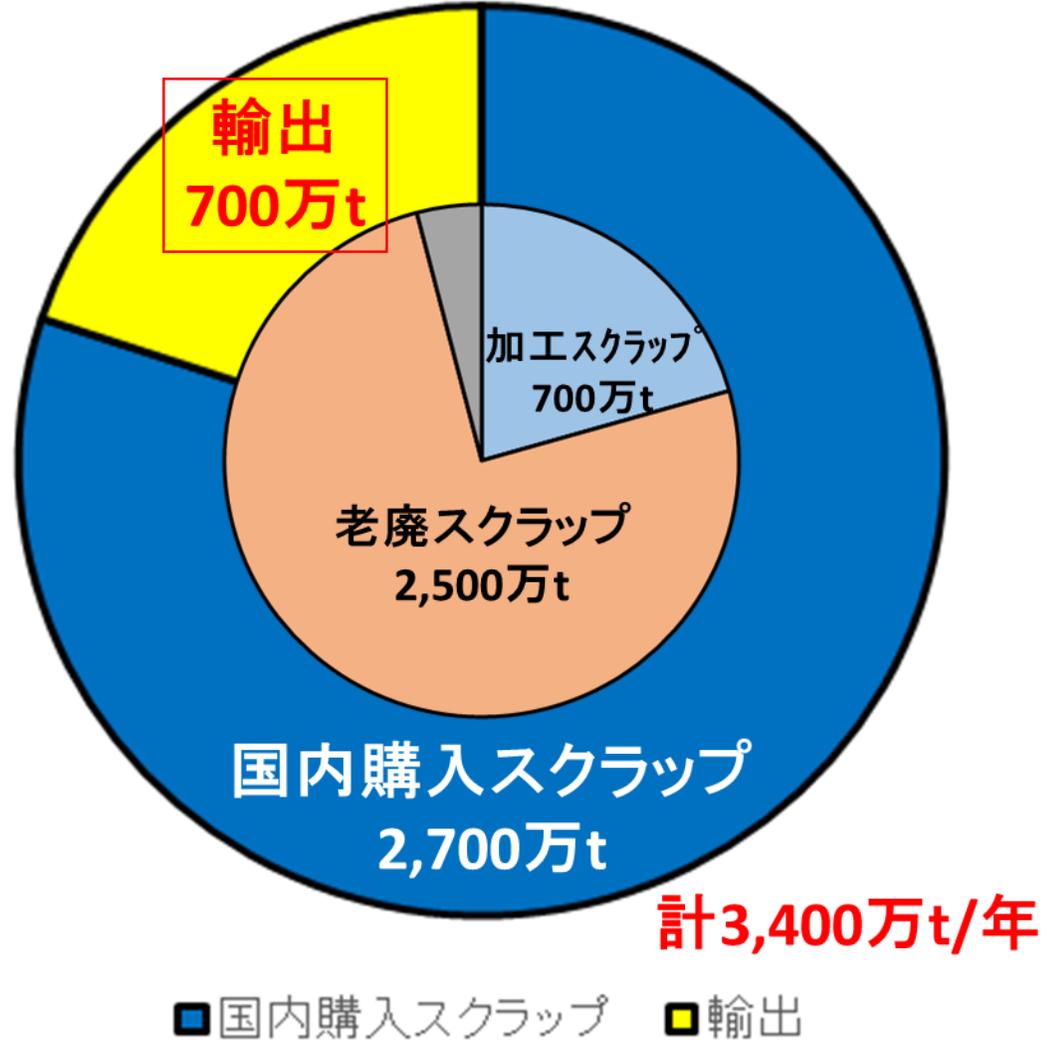
鉄鋼蓄積量の推移



資源国日本/都市鉱山の活用

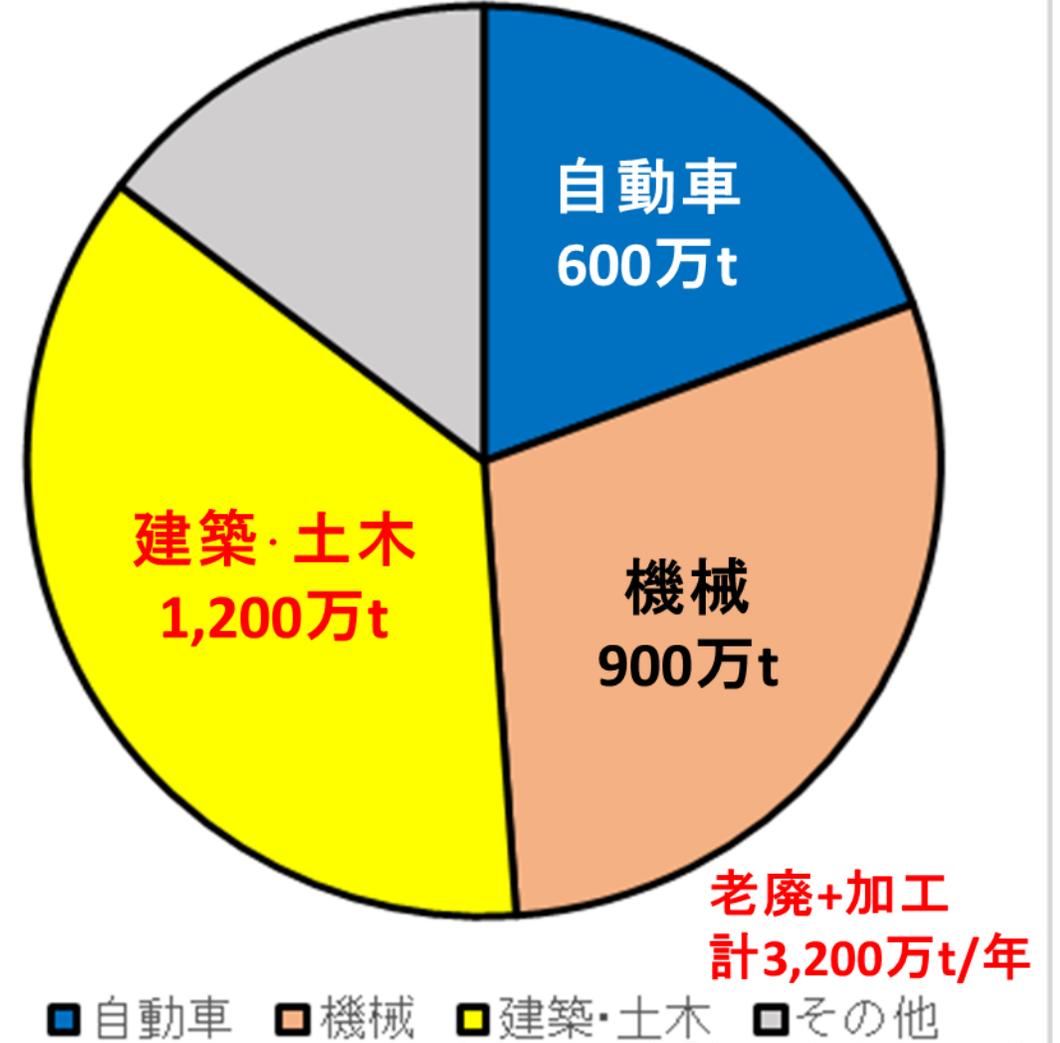
2021年 市中発生スクラップの内訳

貴重な市中発生スクラップの約20%が海外へと輸出



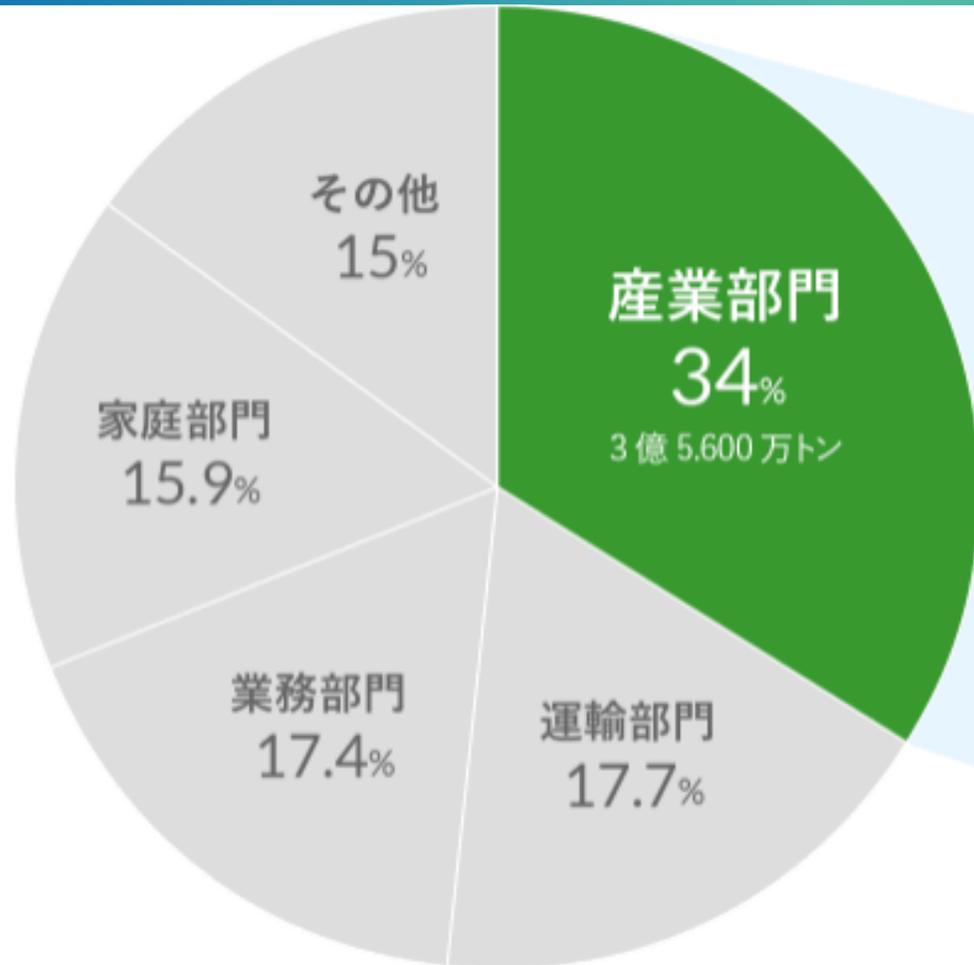
2021年 老廃・加工スクラップ発生部門別の内訳

建築・土木が全体量発生量の約36%を占める



※日本鉄源協会「鉄源年報」より作成

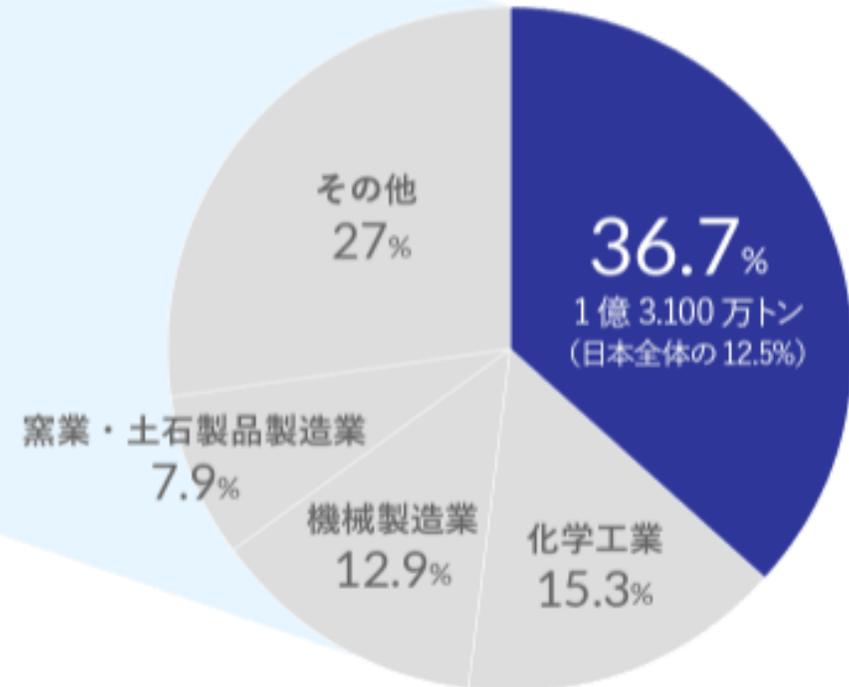
わが国の部門別CO₂排出量



産業別 CO₂ 排出量の内訳

10億 4,400万トン

鉄鋼業の CO₂ 排出量は
大きな割合を占める



製造業 CO₂ 排出量の内訳

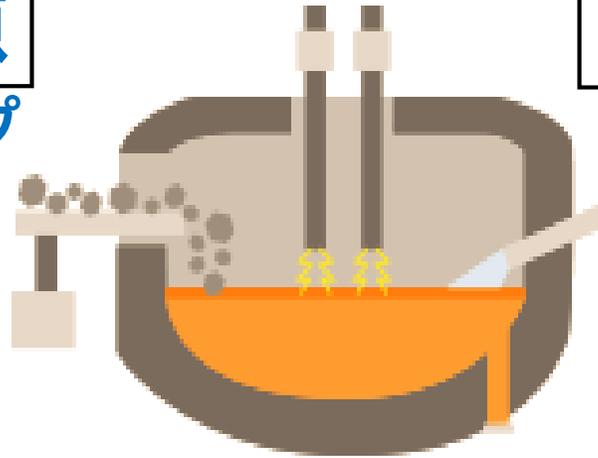
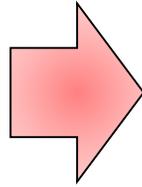
3億 5,600万トン

CO₂排出量の少ない鉄鋼生産プロセス

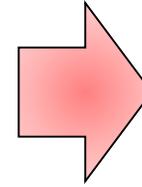


再生資源

鉄スクラップ



電気炉



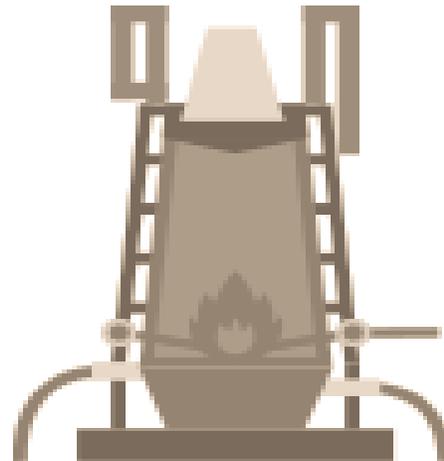
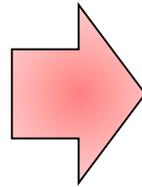
製品1トンあたりの
CO₂排出量

電気炉

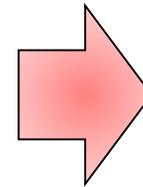
0.4t

鉄鉱石・石炭など

天然資源



高炉



高炉

2.0t

Tokyo Steel EcoVision 2050



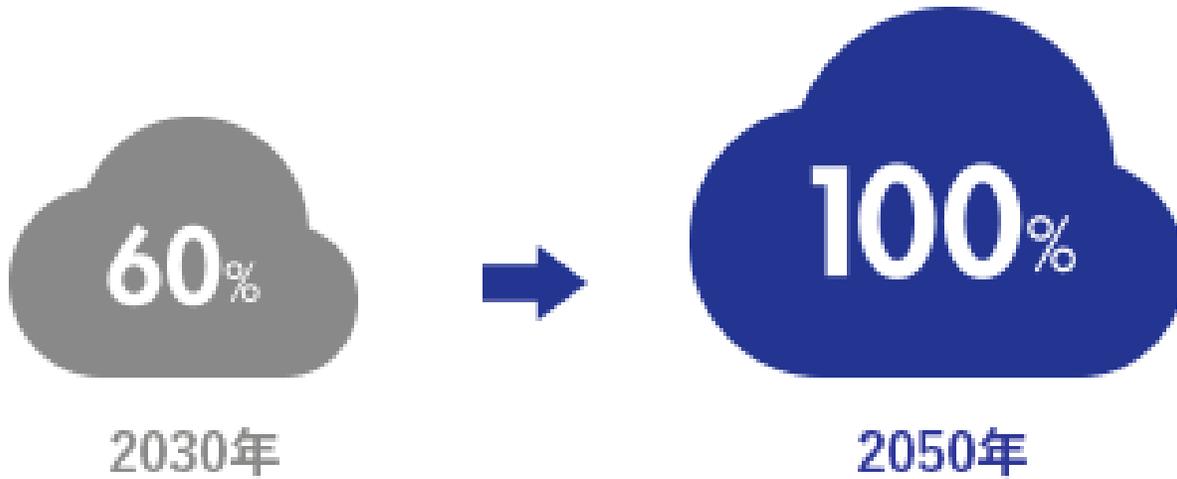
CARBON **MINUS** x **UP** CYCLING
EcoVision2050

Tokyo Steel EcoVision 2050



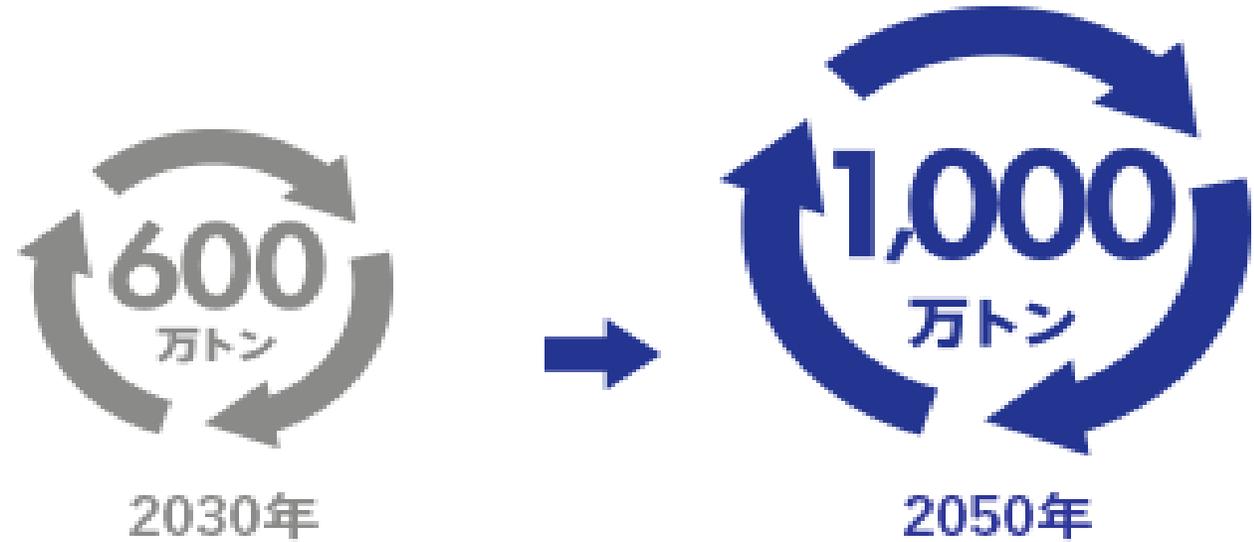
脱炭素社会への貢献

2050年カーボンニュートラル



循環型社会への貢献

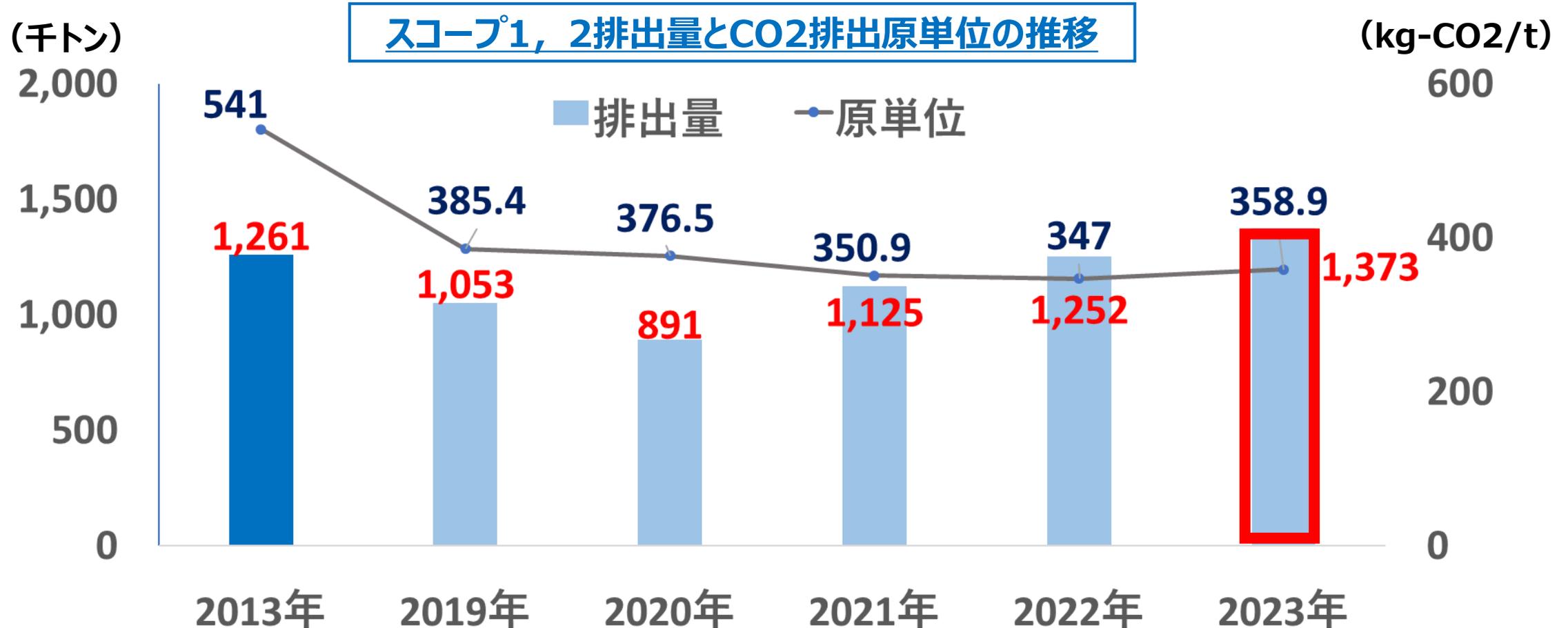
2050年生産量1,000万トン



➡ 環境に優しい電炉鋼材の供給を通じて、既存の高炉鋼材のシェアを代替し、社会全体のCO2削減に大きく貢献する。

生産プロセスにおけるCO₂削減

**2013年度の基準年と比較して、2023年度のCO₂排出原単位は▲34%となった。
2050年カーボンニュートラルに向けて着実な低減が進んでいる。**



粗鋼生産量・鋼材販売数量の推移

脱炭素・循環型鋼材のニーズ拡大を受け、直近5年間で粗鋼生産量・鋼材販売数量は大幅増。

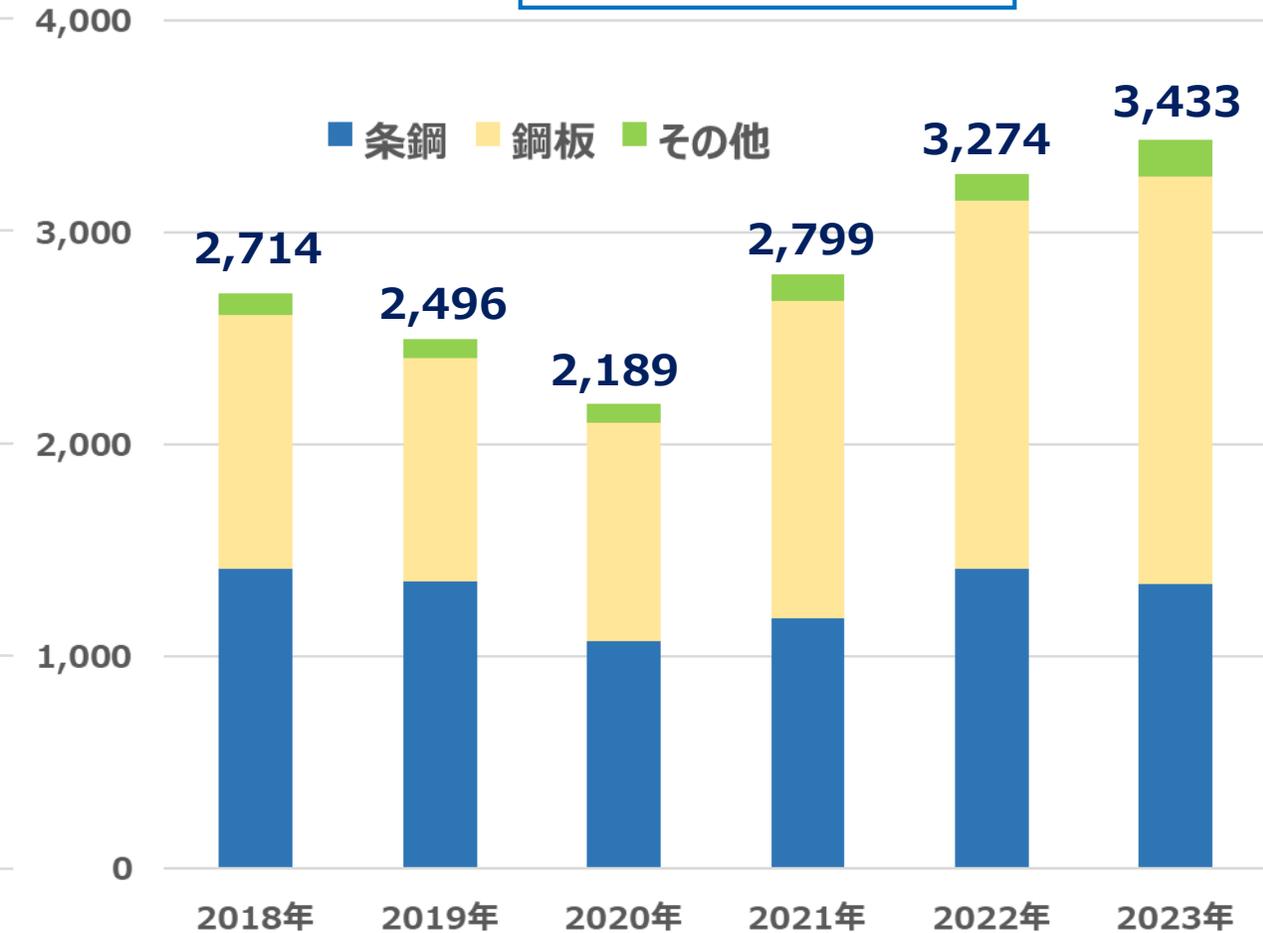
(千トン)

粗鋼生産量推移



(千トン)

鋼材販売数量推移



グリーン鋼材「ほぼゼロ」スタート！



2024年7月1日より、
グリーン鋼材ブランド「ほぼゼロ」の販売を開始。

今すぐに、「脱炭素」。
限りなく、「CO2ゼロ」。
だから、「ほぼゼロ」。



EVメーカー・株式会社FOMMとの協働

● 2023年11月10日リリース
株式会社FOMM・三菱総研と共同で「アップサイクルカー完成記者会見」を実施。

ベンチャーEVメーカーである株式会社FOMMと協働しコンセプトカーを製造。小型EV「FOMM ONE」の車体に、引張強度590MPaのハイテン材をはじめ、当社鋼材が約72%使用。



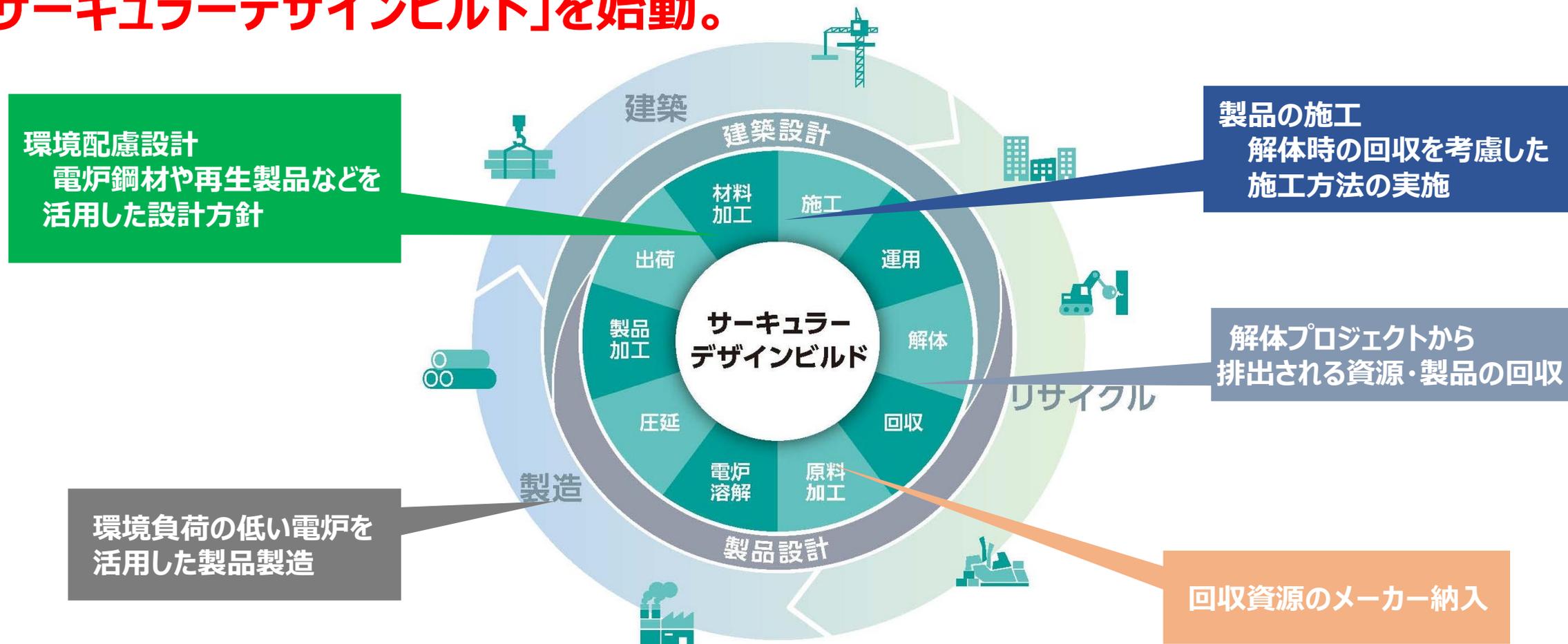
当日の記者会見の様様



株式会社竹中工務店との協働

● 2023年12月14日リリース

竹中工務店・巖本金属・岸和田製鋼・共英製鋼と協働し、業界の垣根を超えた「サーキュラーデザインビルド」を始動。



千代田鋼鉄工業株式会社との協働



● 2024年4月30日リリース

電炉メーカー・千代田鋼鉄工業株式会社と協働し「CO₂低減カラー鋼板」を開発。

当社岡山工場の溶融亜鉛めっきコイル(GI)を、千代田鋼鉄工業がカラー鋼板として塗装加工するスキームを構築。



千代田鋼鉄工業株式会社



千代田鋼鉄工業株式会社との協働



電炉メーカー・千代田鋼鉄工業株式会社と協働し「CO₂低減カラー鋼板」を開発。

2024年8月に千代田鋼鉄工業の電炉原板「カラーガルバリウム鋼板」が公共施設の屋根材に初採用。屋根材には、通常の外壁材よりも耐久性や耐食性が求められるため、当製品が屋根材として十分な性能を保持していることが確認された。



当社ホットコイルを原板とする「カラーガルバリウム鋼板」の施工写真
(提供：千代田鋼鉄工業株式会社)

パナソニック株式会社との協働



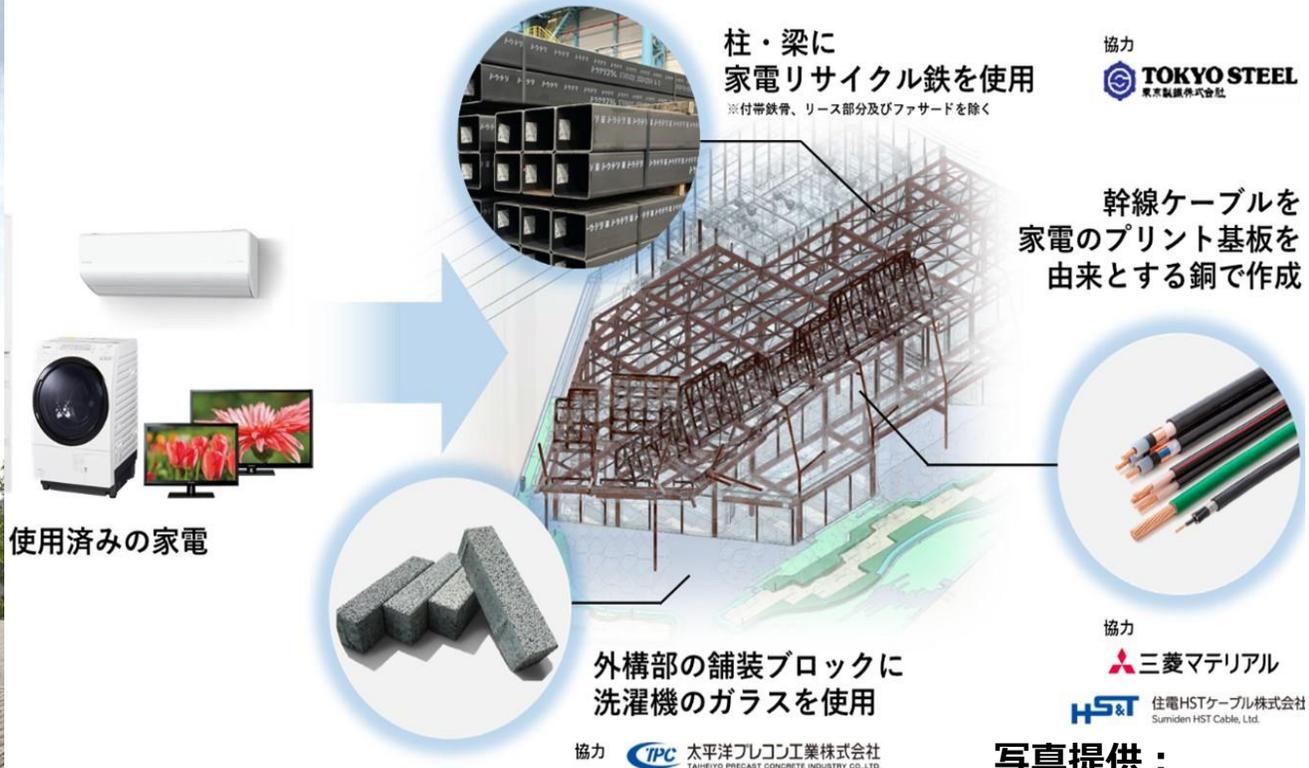
● 2023年7月12日リリース

**2025大阪・関西万博 パナソニックグループパビリオン「ノモの国」
に、使用済み家電からリサイクルした当社鋼材が採用されました。**



使用済みの家電がパビリオンに生まれ変わる

Panasonic GREEN IMPAC



大和リース株式会社との協働



● **2023年10月2日リリース**

大和リース株式会社の「環境配慮型 自走式立体駐車場」に当社鋼材が採用。

立体駐車場に使われる柱・梁・床の構造材に電炉材を採用することで、従来の立体駐車場建設と比べてCO₂排出量を約 55%削減する「環境配慮型 自走式立体駐車場」を、大和リース株式会社と共同開発しました。



■商品特徴

柱・梁・床の構造材に電炉材を採用

電炉材は主原料が鉄スクラップのため、資源を有効活用でき、高炉材に比べて消費エネルギーを抑えて製造できます。

床デッキプレート:電炉材

鋼材(柱・梁):電炉材



写真提供：
大和リース株式会社

英国・ステムコグループとの協働



● 2024年6月8日リリース

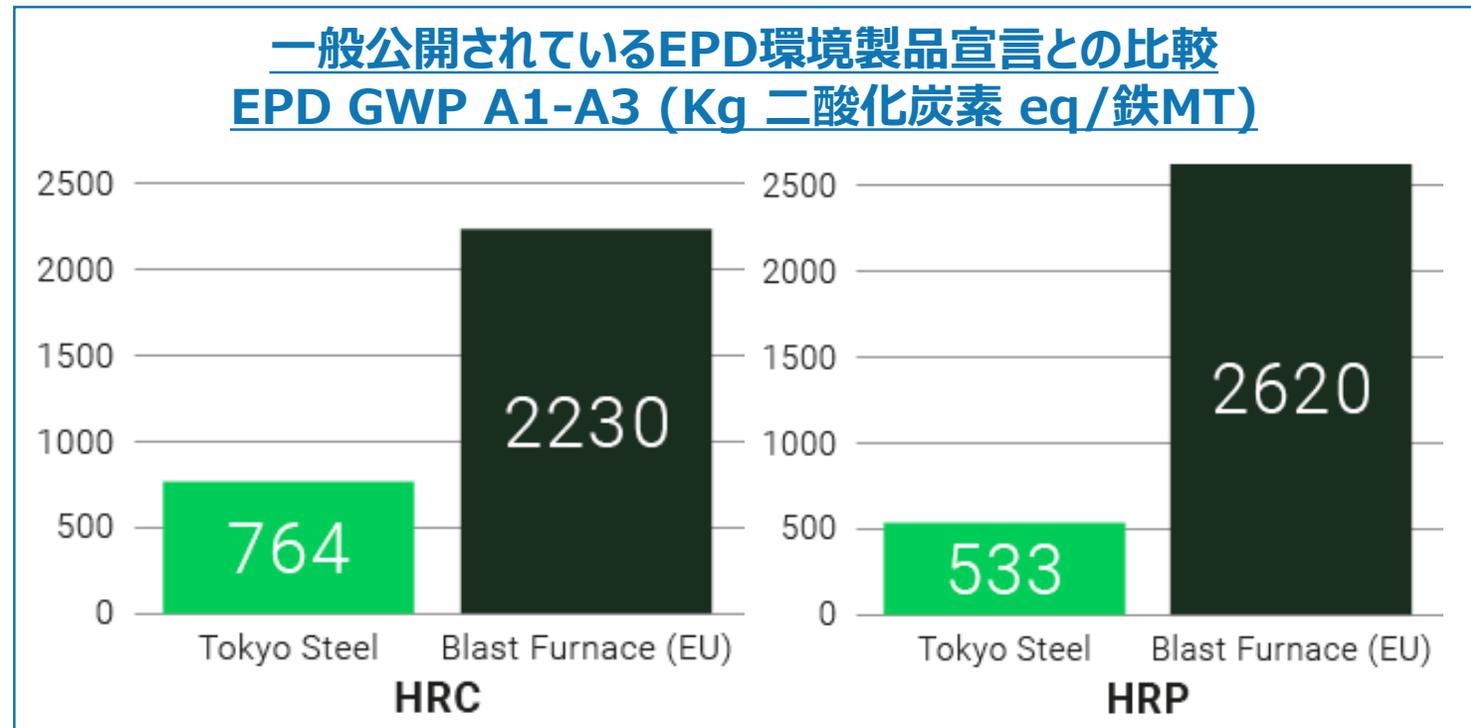
海外向け低炭素循環型鋼材ブランド「enso®」を立ち上げ

英国の独立系専門商社・ステムコグループと連携し、グリーン鋼材への需要拡大が見込まれる欧州を中心に、当社鉄鋼製品の販売増を目指す。

enso®
Tokyo Steel

Exclusively distributed in Europe by:

STEMCOR



ヤマハ発動機株式会社との協働

● 2024年8月2日リリース

ヤマハ発動機株式会社 of 二輪車出荷用梱包枠に当社鋼板が採用

2024年10月出荷分の二輪車用梱包枠に採用開始し、今後、適用範囲を段階的に拡大することで梱包枠におけるリサイクル材の比率を高めていく計画。



二輪車出荷用梱包枠の一部に当社鋼板が採用（提供：ヤマハ発動機株式会社）

関西サテライトヤードの正式オープン



2022年6月、名古屋サテライトヤードを開設(愛知県名古屋市)

2024年6月3日、関西サテライトヤード(兵庫県尼崎市)正式オープン



※ 名古屋サテライトヤード

©2024 TOKYO STEEL MANUFACTURING Co.,Ltd. All Rights Reserved



採用情報

募集職種(事務系総合職)

		専攻
事務系 職種	販売(国内)	全学部・全学科
	販売(輸出)	
	購買・資材	
	物流	
	総務・人事	
	経理・資金	
	広報・CSR	
	安全・環境	

募集職種(技術系総合職)

		専攻						
		金属材料	電気電子	機械	環境資源	情報	化学	物理
技術系 職種	製鋼	◎	○	○	○	○	○	○
	圧延	◎	○	◎	○	○	○	○
	設備	○	○	◎				
	制御システム		◎	○		○		
	情報システム		○			◎		
	品質管理	○			○		○	○
	技術開発	◎	○	◎	○	○	○	○
	安全・環境				◎			

家賃補助率

90%

有給取得率

90%

2024年度ボーナス

280.8万円

鉄鋼業界No1

Challenge

社会に貢献するという強い使命感を持ち、困難にも果敢に挑戦することのできる人物

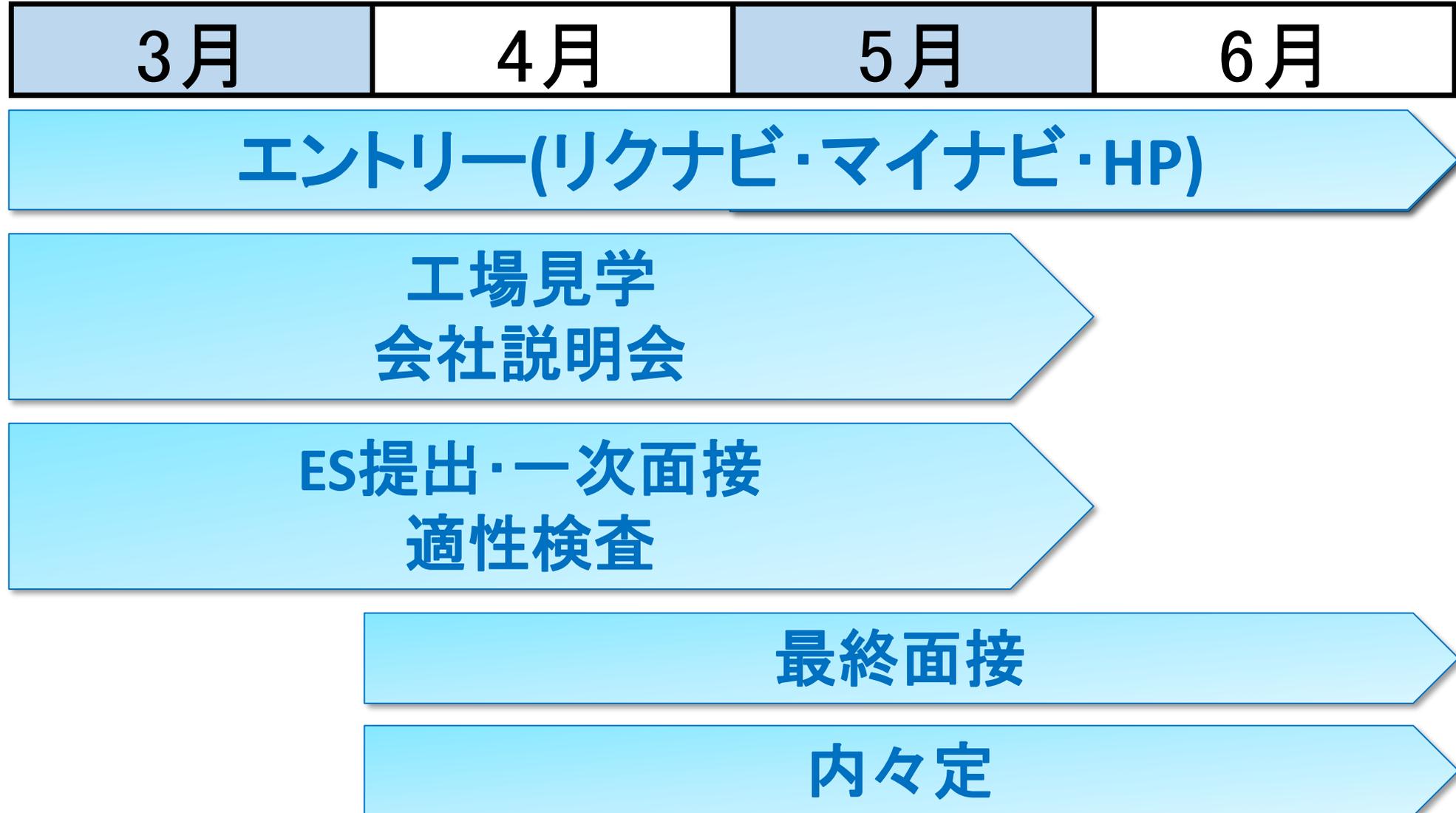
Change

変化を敏感に察知し、おそれることなく向き合うことで常に自らの成長を望む人物

Communication

常に公正で誠実な姿勢を大切にし、周囲と強い信頼関係を築きあげ、ものごとを成し遂げられる人物

選考フロー



ご清聴ありがとうございました。



TOKYO STEEL